

### 災害時の円滑な初動対応に 塩谷病院で実践的な災害対応訓練

国際医療福祉大学塩谷病院で2月18日、災害初動訓練が行われました。これは、県災害拠点病院およびDMAT指定病院の当院が、災害発生時に迅速かつ的確な医療行為が行えるよう、塩谷広域行政組合消防本部などの協力を得て毎年実施しているものです。参加者は、災害時における患者受け入れなど、実践さながらの訓練を行いました。参加者からは「訓練を通じ、日頃から有事への備えや心構えの大切さを改めて実感した」との声が聞かれました。DMAT：Disaster Medical Assistance Team（災害派遣医療チーム）



### 本市来訪者への臨機応変な対応、新たな事業立案へ 「やいた観光文化コンシェルジュ」養成講座が修了

生涯学習館で2月22日、やいた観光文化コンシェルジュ養成講座の最終回（全8回）が行われ、受講者18人に認定証が授与されました。当講座は、受講者が本市来訪者に対し、リクエストに応じた臨機応変な接客を行える能力や、新規来訪者の獲得に向け事業立案に取り組むための必要なスキルの習得を目的に開催されたものです。成果発表において受講者は「学んだ知識を生かし、来訪者の満足度を上げていきたい」と話していました。



### 交通安全協会より事故防止の願いを込めて ピカピカの1年生にランドセルカバー贈呈

生涯学習館で3月2日、贈呈式が行われ、矢板地区交通安全協会からランドセルカバーと交通安全教材が贈呈されました。これは、小学校に入学する児童が安全に通学できるよう協会が毎年行っているものです。市キャラクター「ともなりくん」が描かれた黄色いカバーと親子で学べる教材は、新1年生214人に配布されます。高塩会長は「子どもたちが、無事故で楽しい学校生活を送る手助けになればうれしい」と話していました。



（左から）矢板地区交通安全協会 高塩 美守会長、村上教育長

### 行政区に設置された自主防災組織と消防団で 大規模な災害時に備えて合同訓練

自主防災組織と地元消防団が3月5日、大規模災害発生時の避難体制強化を目的として、合同訓練を実施しました。参加者は各自治公民館で備蓄品の確認などを行ったほか、生涯学習館内の体育室に集合し、防災士である市長ほか消防団員から、避難所設営・運営や救急救命デモンストレーション・情報伝達体制などの説明を受けました。参加した方は、「大変勉強になった。このような訓練を継続してくれると私たちも心強い」と、話してくれました。



### いちご一会とちぎ国体で演奏した吹奏楽部 へ記念動画を贈呈。感動をいつまでも



詳しくはこちら

10月に本市で行われたいちご一会とちぎ国体・サッカー（少女女子）の決勝戦などで、矢板小・東小合同吹奏楽部と矢板中吹奏楽部が披露した演奏を広く市民の方に見てもらうことを目的に、地域おこし協力隊・黒木さんが動画を制作し、参加した吹奏楽部に贈呈しました。受け取った生徒は「コロナ禍で発表の機会がない中、演奏できてうれしかった。また、映像になることで何年後でも思い出すことができるのでよかった」と話しました。



### いざ、少年野球全国大会へ チームメイトとともに目指すは頂点！

市役所で3月14日、県支部予選を勝ち抜き、第53回日本少年野球春季全国大会（中学生の部）への出場を決めた、「県央宇都宮ボーイズ」所属の蜂巣 祥万さんが市長を表敬訪問しました。3月26日開幕の大舞台に臨む当チームは、2大会ぶりの全国制覇を目指します。チームの主将を務め、矢板中学校2年生の蜂巣さんは「チーム一丸となり、一戦必勝で優勝に向けて勝ち上がりた」と意気込みを話しました。



（左から）横塚副市長、県央宇都宮ボーイズ 入江代表、齋藤市長、県央宇都宮ボーイズ 蜂巣主将、蜂巣さん（祥万さんの父親）、村上教育長

### 矢板に出店した企業としての地域貢献活動 本市の災害対応力強化に向け協定締結

市役所で3月17日、運送事業を展開し、矢板南産業団地内に支店を構える南東北福山通運（株）と市との「災害時における物資輸送及び運営等の協力に関する協定」締結式が行われました。本協定は、避難所への支援物資の輸送や物資拠点施設の運営補助など、災害発生時の迅速な協力体制の構築を目的に締結されたものです。小林代表取締役は「地域密着型の企業として、市民の方に安全・安心を届ける一助になれば」と話しました。



（左から）横塚副市長、齋藤市長、南東北福山通運（株）小林代表取締役、同矢板支店 麻生支店長

### 子どもたちに理科実験で使用する備品を寄附 ものづくりを通して地域貢献を

市役所で3月17日、寄附贈呈式が行われ、片岡にある日光金属（株）様から実験装置や測定器などの理科備品が贈られました。これは、当社において「第6回めぶきビジネスアワード」最優秀賞受賞の記念として寄附されたもので、片岡地区の小中学校の備品として授業で活用されます。佐藤代表取締役社長は「私たちが活動できるのも地域の協力があってこそ。ものづくりを通してこれからも矢板市に貢献していきたい」と話しました。



（左から）村上教育長、横塚副市長、齋藤市長、日光金属（株）佐藤代表取締役社長、同販売総代理店 井上営業本部長